

災害対策について「伴に」考える研究会

第21回定例会

東京オリンピック・パラリンピック開催を視野に入れ、健常者に限らず社会的擁護が必要な高齢者や障害者等、あるいは言語等外国人が抱える問題にも目を向ける。地域社会や地域住民の多様性や個々の特徴を把握・理解・尊重し、何より **命** を一義的に、災害対策の基本である安全・安心確保を目指す。Health (健康)・Coexistence (共存)・Well-being (幸福) を意識し、地域住民等とともに、「地域に内在する多種多様なリスクを把握した上での医療・保健・福祉支援システム」を協働で創ることを研究会活動の目的とする。



本研究会の講演・演習、並びに、成城体操部による防災訓練イベント

日時: 平成31年3月20日(水) 開場:17時40分、開演:18時00分
会場: 成城中学・成城高等学校(新宿区・指定避難所)、大会議室
新宿区原町3-87(都営大江戸線牛込柳町駅西口すぐ)

統一課題: **イザ!**というときに役立つ、**保健知識**と**連携体制**

1) 地域のみんなでつくる地域連携システム

成城学校避難所運営管理協議会

代表世話人 **土屋 勝 氏**

各分科会リーダー 越智・中居・久保(代理:山崎)・佐藤・北川・山住

2) 避難所対策としての保健教育の必要性

人間総合科学大学人間科学部

教授 **丸井 英二 先生**

(順天堂大学医学部公衆衛生学、客員教授)

※ 新宿区・成城関係者、研究会・研究班メンバー、順天堂関係者、その他 (要申込)

共 催: 新宿区成城学校避難所運営管理協議会、成城避難所女子会
災害対策について「伴に」考える研究会、順天堂大学医学部総合診療科
問合先: akiko@juntendo.ac.jp 坪内暁子・順天堂大学大学院医学研究科助教
(同研究会・成城避難所女子会・協議会各分科会、世話人)

